

「湯の丸山のアサギマダラ」

湯の丸山 (ゆのまるやま) は群馬県が一番西の嬭恋村の「角」にあります。長野県との県境——日本海と太平洋に雨水を分ける「大分水嶺」上に位置します。登山口(地蔵峠)から、1時間ちょっとで登れる山ですが、花や昆虫などが豊富で自然が非常に豊かな山です。特に、蝶の愛好家によっては観察の好適地といえます。



「湯の丸山の位置と山頂付近」 「◎鶴舞う形の群馬県(上毛かるた)」の尾のところにあります。山頂付近は草原状で、おらかなハイキングを楽しめます。この尾根は日本海と太平洋へ雨水を分ける、「大分水嶺」の一部です。背後の山は「四阿山(あずまやさん)」です。



「湯の丸山の看板」

ミヤマシロチョウの採集禁止と書いてあります。こういう看板があるということは、実際に違反者がいるということですね。

私は何度も湯の丸山に登りました。鹿沢休暇村の林間学校での引率、その為の実踏、そのほかにも登っています。目的の一つは眺望です。山頂付近には樹木がほとんどなく、360度の大パノラマが楽しめるのです。特に北アルプスの眺望は圧巻です。晴れた日なら、北アルプスのほぼすべての山が見えます。



「湯の丸山山頂からの北アルプス眺望」 白馬から穂高まで、ほぼすべての山が見えます。

もう一つの目的は「アサギマダラ」に出会うことです。アサギマダラ（浅葱斑）は、タテハチョウ科の蝶で、何かと話題が多い蝶です。まずはその美しさ。国の蝶（国蝶）選定の際に、オオムラサキと並んで候補にあがったほどです。人を恐れない「性格」でも有名です。触れるほどそばに寄って撮影できます。白いハンカチを振ると、自分から近寄ってくる面白い行動もします。飛び方もモンシロチョウのようにパタパタ飛ばず、アゲハのように滑空しながら優雅に飛びます。更に、渡り鳥のように、何千キロも海を越えて飛ぶことも知られています。

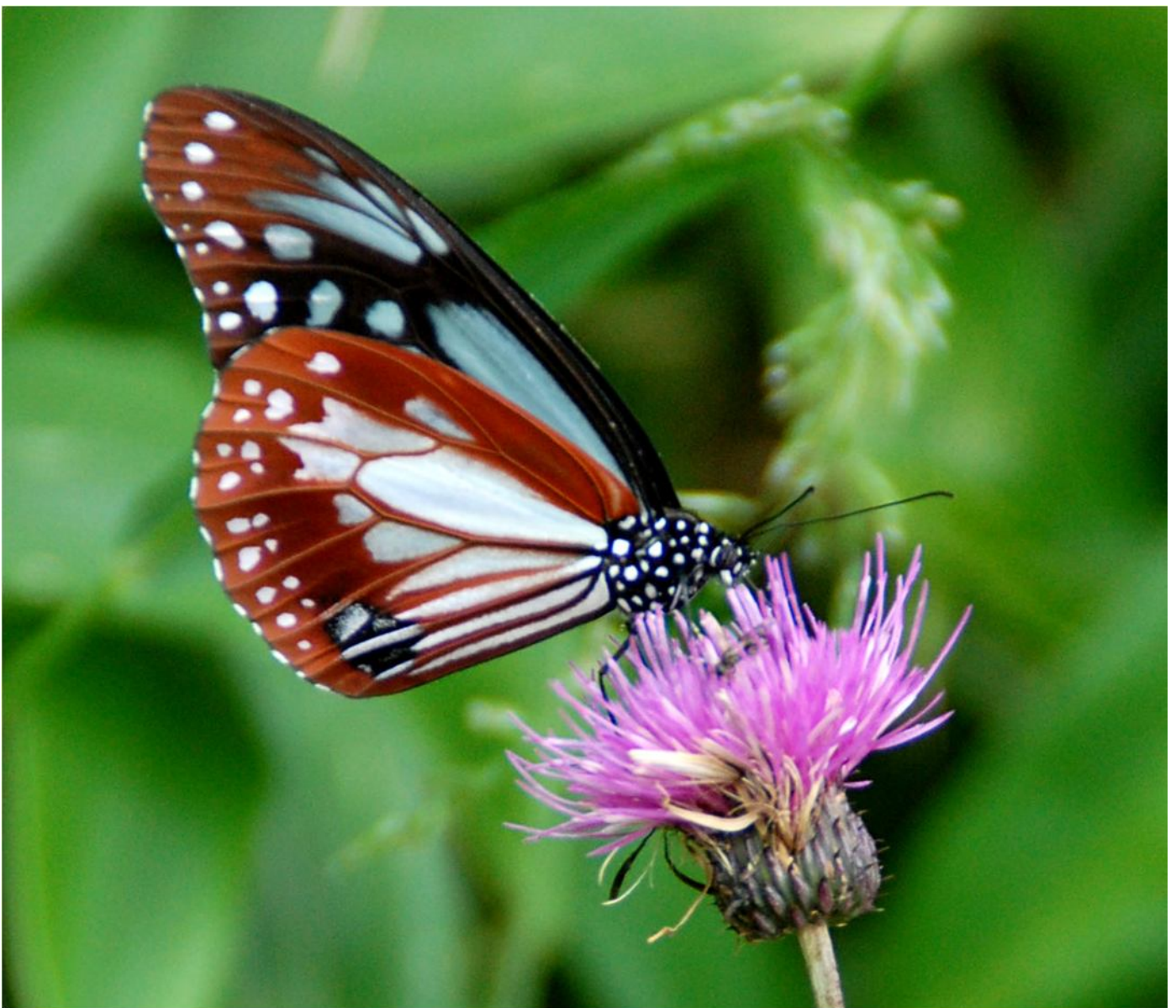


そんなわけで、蝶の専門家だけでなく、一般のハイカーにも非常に人気の高い蝶です。アサギマダラはキク科の花—特にアザミを好みます。湯の丸山には夏から秋にかけて、たくさんのアザミが咲くので、是非アサギマダラに会いにお出かけください。



「湯の丸山登山道」

アザミをはじめとする、多くの種類の花が咲き、蝶たちの楽園になっています。



「湯の丸山のアサギマダラ」 *Parantica sita* 美しい蝶です。アザミの花を好み、優雅に舞いながら飛び回ります。人をあまり恐れず、非常に近くまで寄って撮影できます。

(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)